



# 医療用テープ製剤

## 開発の基礎と応用

～低皮膚刺激化と物性・機能を付加する設計に関して～

- 日 時：2026年6月10日(水) 13:00～16:30
- 聴講料：1名につき 49,500円（消費税込、資料付）
- 会 場：Zoomを使用したLive配信（1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円（税込））  
※アーカイブ配信は6/19～6/29に実施（大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。）
- 講師：メディカルテープ研究所 代表 山本 敏幸 氏

### 【このセミナーで学べる事】

- ・医療用粘着剤の基礎特性と粘着メカニズム（タック・保持力・剥離特性の理解）
- ・皮膚構造と角質層物性が粘着挙動に与える影響
- ・低刺激化を実現する材料設計（ポリマー設計・可塑剤・添加剤制御）
- ・粘着力と皮膚安全性の両立設計（剥離挙動・角質損傷・長時間貼付）
- ・皮膚刺激・角質損傷の評価法と設計へのフィードバック
- ・新製品開発 特性・機能・材料設計 ・医療機器・化粧品・医薬品開発に関して ・薬事面のポイント など

【講座主旨】粘着剤はなぜくっ付くのかに関して考えながら、医療用粘着剤の基本知識を学んでゆきます。一方、医療用粘着剤と言えども皮膚刺激やアレルギー反応が出て来ます。その発生原因と対策が大切です。なぜ皮膚刺激が生じるかを考察して、その対策法を開発事例をベースにお話しします。特に、皮膚刺激をほぼ無くするゲル粘着剤について、その開発過程や検証の方法なども含め説明します。

透明フィルムドレッシングについて、皮膚常在菌と皮膚刺激に関して、その使用目的に照らしながら開発秘話をお話ししましょう。創傷被覆材 フィルムタイプ、ハイドロコロイドタイプ などと創傷治療性がどんなにすごいのか、臨床写真を紹介しながらお話しします。（医療機器 クラス2）

経皮吸収薬開発のポイントに関して、どんなステップで開発するか、実験の一端や、対策として新たな粘着剤設計を行ってきたことなどを紹介します。

成熟した社会、ほとんどのものは揃っている。その中で、新たなコンセプトの商品化について紹介。（アトピー性皮膚炎の皮膚バリア損傷を改善するテープ（肌レーヌの開発物語））を解説します化粧品分野の商品開発 化粧品ができるテープなどに関して、また、肌荒れ改善テープなどにも紹介しましょう。

医療用製品の安全性試験はどのような試験をすればよいか、許認可の薬事で要求される試験についてお話しします。また、その肌に貼る製品のリスクについてもお話しします。

医療機器・医薬品の開発に必要な薬事に関しても簡単ですが紹介いたします。

最後に、今後の面白い開発テーマを考えるヒントになるようなことも紹介します。

### 【講座内容】

1. 粘着剤と粘着機構  
・粘着剤とは ・粘着剤の性質と粘着力の生じる因子

- ・粘着剤はなぜ接着するのか
2. 医療用粘着剤について  
・医療用粘着製品とは  
・医療用テープの種類（医薬パッチ～化粧品）  
・テープと皮膚との関係 ・皮膚に粘着する要件  
・粘着剤設計のいろは ・アクリル粘着剤の設計の考え方
3. テープによる皮膚刺激の原因  
・医療現場での問題点 ・皮膚刺激の原因 ・皮膚の構造と機能
4. 開発アイデアから製品開発へ  
・低皮膚刺激粘着剤（ゲル型）の開発事例  
・角質剥離に着目した低刺激化設計  
・粘着剤物性と角質剥離の関係  
・臨床応用結果
5. 支持体の物性と皮膚刺激
6. 水蒸気透過性と皮膚刺激  
・水蒸気透過性と皮膚刺激の関係
7. 製品コンセプト設計  
・医療用テープの機能付加と新製品開発 ・肌レーヌの開発事例
8. 安全性評価  
・生物安全性の考え方 ・必要な安全性試験
9. 化粧品分野への展開  
・化粧品テープ・美容用途の応用
10. 創傷被覆材  
・湿潤療法での考え方と事例
11. 経皮吸収薬  
・テープ技術の応用  
・テープ薬の特長と皮膚刺激
12. 薬事上の課題  
・薬事で求められるポイント
13. 今後の課題
14. 質疑と討議

### ●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。  
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

## 「医療用テープ製剤」セミナー申込書

（Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください）

- Live配信（No.606113） 開催日：6/10
- アーカイブ配信（No.606165） 配信期間：6/19～6/29

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX（03-5436-7745）にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください（現在案内が届いている方も再度ご指示ください） 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			